

北海道・東北地協 医学生合同合宿in京都

民医連のルーツを探し、将来の医師像を考えよう！

2019年11月2～4日に北海道・東北地協合同医学生合宿が京都で開催されました。地協全体では医学生24名、医師3名、専任者13名、合計40名の参加でした。

1日目は、京都民医連・九条診療所所長山本勇治先生に九条診療所における無差別・平等の医療の実践について講演いただき、その後NPO法人京都コリアンセンターで、在日コリアンの方々を抱える人権・差別問題などについて講演いただきました。その後の感想交流では、「京都にこんな困難な地域があったなんて知らなかった」、「自分の周りにも在日の方が居たのかもかもしれないと思った」等の感想がありました。

2日目は、立命館大学平和ミュージアム見学を行い、見学後に安齋育郎先生から「あらためて『平和とは何か』を問う-医療福祉人としてどう生きるか」というテーマで講演いただきました。午後は宇治へ移動し、花やしき浮舟園で、無産者診療所・民医連誕生のきっかけとなった山本宣治の生涯について学びました。

3日目は「学生時代の学びと民医連医療について」というテーマで青森民医連の松本拓真先生と宮城民医連の花木新羅太先生から講演いただきました。

参加した学生からは、「民医連と出会い、考え方が変わっていく過程が興味深かった」、「民医連で働く医師の話が聞くことができモチベーションが上がった」、「仲間づくりを大切にしていきたい」等の感想が寄せられました。

毎年、テーマや合宿場所を変えて実施しています。
興味のある方は[HP\(医学生のひろば\)](#)に詳しい内容が記載されます。



九条診療所所長の山本勇治先生



講演をする花木新羅太先生



平和ミュージアム見学の様子

坂総合病院医学生だより

坂 坂

〈発行〉
坂総合病院
医学生と共に歩む委員会
連絡先・塩釜市緑町16-5
☎ 022-367-9007
2020年2月1日
No.86



坂総合病院HP

「医学生のひろば」より
過去の坂坂がご覧になれます。

Doctor Interview

～研修1年目を振り返って～

こばやし ちさ

医師 小林 千紗



「まずはじめに、小林先生が、初期研修先として坂総合病院を選んだ理由を教えてください。」
「研修先を調べているときにメジャー科を3ヶ月まわれることを知り、この病院に興味をもつきっかけになりました。また、私は関西出身ですが、東北地方は行ったことがない場所だったので知らない地域にも行ってみたいという思いから見学にきました。見学でお会いした研修医の先生方の雰囲気の良いさに惹かれこの病院に決めました。」
「1年間の研修を通して、特に印象に残っていることや嬉しかったことを教えてください。」



「初期研修先に坂総合病院を選んだ良かったと思うところはどんなところですか？」
「坂病院の研修は主治医制であったり当直で1人で診察したりと、研修医の主体性が問われると日々実感しています。まだまだ自分に自信が持てず看護師さんや指導医の先生方に助けていただくことが多い毎日ですが、経験をたくさん積んで臨床医としての力をつけていきたいと思っています。」
「研修1年目を振り返って、小林先生の思いを聞かせていただきました。研修では、病棟業務、一般外来、当直、在宅診療、救急車当番などの研修を行います。坂坂をご覧の医学生の方へ、ぜひ当院の研修を見学に来ていただければと思います。職員一同お待ちしております！」
「又、医師講演や高校生一日医師体験など、様々なイベントも企画しています。皆さんのご参加、お待ちしております。」

教えて！先生！～試験対策編～



高校生Aくん

日本史や生物の暗記が苦手なのですが、対策はどうしていましたか。

試験の直前には、これを見るという自分の苦手な暗記ものを記載したノートを作って、対策していました。



医学生Kくん

リスニング対策は、どのようにしていましたか。

リスニング問題は、2回流れます。2回の放送のうち、出来るだけ1回目の放送で問題を解き、2回目の放送が流れている間は、次の問いを見て、どんな問題が出されるかを推測して備えていました。



高校生Bさん



合格発表



医学生Oさん

次回の坂坂の発行は5月の予定です。

坂坂で読んでみたい記事はございませんか？

医師やコメディカルに聞いてみたいこと・病院のこと・勉強方法についてなど・・・

ぜひ、こちらまでご意見をお寄せください！

igakusei@miyagi-min.com



宮城民医連
主催



医学生 Winter Meeting 2019 in 松島 開催!

ウインターミーティングとは

- ① マッチングした6年生の国試合格の激励
- ② 奨学生同士の交流
- ③ 宮城民医連や坂総合病院を知ってもらうこと
上記を目的に毎年開催しています!

《日時》

2019年12月21日(土)~22日(日)

《場所》

松島ホテル大観荘

《参加者》

医学生22名
(6年生9名、5年生5名、4年生3名、3年生2名、2年生1名、1年生2名)
職員38名
(医師16名、コメディカル8名、事務14名)



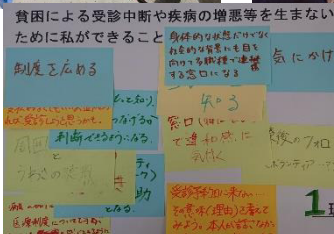
学習企画

～貧困による受診中断事例～

学習企画では、坂総合病院で実際にあった事例を通し意見を出し合い患者さんの背景にある生活実態や社会問題について考えました。

貧困を抱える患者さんにどのように寄り添っていくか?どのような制度があるのか?医師としてなにができるか?など意見を出し合い自らの医師像を深めてもらうとともに「貧困による受診中断や疾病の増悪等を生まないために私ができること」をまとめ、発表を行いました。

医療、地域、社会を「One Team」として例える班、「多職種間で気付きの共有」「制度の情報提供」「病院の外に出て困っている人の窓口になる!」などがまとめた意見として挙げられ、すぐにも実践できる内容の学習会となりました。



～参加学生からの感想～

- ・医師として働くと、このような困難な事例に直面する事があると思う。学生である今から、しっかり学んでいきたいと思う。
- ・完全な解決を出す事は難しいと思うが、その為に自分達が何を知らないといけないのかという事を再確認出来た。
- ・学生、医師、事務員、MSWなど、様々な職種の方々と意見交換が出来て、とても貴重な経験となりました。



大交流会



内藤孝院長の乾杯の挨拶から始まり、参加学生から一人一言、参加医師全員から学生へ向け、坂総合病院での研修の魅力や医師として働く喜びなどの言葉をいただきました。

2020年度入職予定の6年生からは初期研修への意気込みを壇上で語ってもらいました。

藤原大先生からは、6年生へ向けた激励の言葉をいただき、宮沼連会長の閉会の挨拶、最後は全員で記念撮影!

今回のウインターミーティングも楽しく学習、交流することができました。



先生方から、医学生に向けて激励のメッセージをいただきました。

第1回、第2回 医学科受験生向け模擬面接開催！

11月13日（水）と11月16日（土）に、TKP 仙台カンファレンスセンターにて「医学科受験生向け模擬面接」を開催し、計5名の受験生が参加して下さいました。

参加した方からは「初対面の人との面接練習は初めてだったので緊張しましたが、良かったところを褒めていただいたり、アドバイスもしてもらえ、入試に向けてとても良い経験となりました」、「本番さながらの緊張感をもって面接をすることが出来ました」など感想が寄せられ、今回の模擬面接を通して様々なことを学ぶことができた様子で、大変好評でした。



模擬終了後は、東北大学と東北医科薬科大学の現役医学生も交えて懇談を行いました。入試のアドバイスやこの時期の過ごし方、医学部に入ってから生活、将来どんな医師になりたいかなどのお話で盛り上がりました。

次回は、2月1日（土）に開催予定です。

是非、受験生の皆様のご参加をお待ちしております。

古川学園医師・看護師・薬剤師講演会開催！

12月17日（火）に、古川学園高等学校にて医療系進学希望者を対象に講演会を行ない、約50名の方が参加して下さいました。

坂総合病院研修医の熊谷優大先生からは、どのように受験勉強に取り組んだか、合格した後の大学生活、そして現在の研修医生活について話していただきました。

薬剤師の渡邊拓也さんからは薬剤師になるまでの勉強方法、薬剤師の業務・やりがいについて話していただきました。患者さんと薬の架け橋としての魅力、地域での講師活動など多岐にわたる業務があることを紹介していただきました。

看護師の鎌田有紗さんからは、多職種連携で患者さんをサポートしていること、業務の合間の勉強会の取り組み、看護師になってからもキャリアアップしていけること、様々な専門看護師資格があることなど紹介していただきました。講演会の後は個別で講師に相談できる時間を設けましたが、予定していた時間で足りないほど盛況となりました。



医学科新入生の皆さんへ 合格お祝い会のお知らせ

新たな生活に期待と不安でいっぱいの中、先輩に色々聞いて疑問を解決しませんか。先輩医学生より、大学生活6年間の過ごし方についてのアドバイスなどを予定しています。皆でケーキを食べながら行う楽しい企画です(^o^)♪お気軽にご参加下さい。

○場所：宮城民医連 医学生室(仙台市青葉区広瀬町 3-24 アールズ広瀬 106)

○日時：2020年3月30日(月)15:00~

予告①



各企画の申し込みはこちらからどうぞ！

予告②

春の高校生予備校生医師体験

今春！も高校生・予備校生1日医師体験を実施します^^

宮城民医連のホームページにて、2020年2月中旬頃に募集を行いますので興味のある方はぜひ申し込みをしてくださいね！



医学生のつとめ in 熊本 「人権を守るためのアドボケイト～LGBTQs～」

2019年12月14日（土）～15日（日）、「第40回民医連の医療と研修を考える医学生のつとめ in 熊本」が開催され、全国から223名が参加しました。今回の12月つとめでは、「人権を守るためのアドボケイト～LGBTQs～」とテーマとして、講演や、グループワークを行って学んできました。

1日目は、学習企画としてすこたんソーシャルサービスの伊藤悟さんより、「医療現場でLGBTの人権を考える」、茨城民医連、城南病院の菊地修司医師より、「LGBTQsとアドボカシー」というテーマで講演をしていただきました。伊藤さんが言っていた、「LGBTQsに限らず、患者は、この先生になら話しても大丈夫、と思えば、相談します。是非皆さんには、何でも相談出来ると思われる先生になって欲しい」という言葉が印象的でした。

2日目は、研修企画として熊本民医連、くすのきクリニックの板井八重子医師より、「水俣病とアドボカシー」というテーマで講演をしていただき、求められる場所や人に寄り添う大切さ、板井先生の行ってきた水俣病に対してのアドボケイトとして、有機水銀濃厚汚染地域における異常妊娠に推移についての疫学的研究や水俣市百人委員会での活動などを話していただき、これからの課題でもある性的マイノリティの方の人権に対して、医療者としてどのような

ことが出来るのかということを考え、大変学びの多いつとめとなりました。

次回のつとめは、3月20日(金)～22日(日)に、「震災(仮)」をテーマに、福島県郡山市「ホテル華の湯」で開催されます！



全国から参加した医学生

星陵アンサンブル病棟コンサート

12月7日（土）に坂総合病院3階病棟にて東北大学の音楽サークル星陵アンサンブルのコンサートが開催されました。星陵アンサンブル部の学生さん15名で、①トロンボーン二重奏 クリスマスソング（チムチムチェリー、シングルベル、もみの木）、②2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 第一楽章③トーンチャイム（さんぽ、いつも何度でも、見上げてごらん夜の星を）の計7曲を披露しました。

コンサートには、入院患者さんを中心に約40名の方が演奏を聞きに来て下さいました。学生さんからは「患者さんが暖かくて嬉しかった」「手拍子してくれたのが嬉しかった」「沢山聞きに来てくれて良かった」という感想がありました。

入院中の患者さんにも喜んでいただけ、大変有意義な企画となりました。

